



南阿蘇村立南阿蘇中学校 学校だより

ハーモニー



R3. 4. 16(金) No.2 小柳 弘志

先週の入学式の様子をお知らせします。

4月9日(金)に入学式を行いました。今年も新型コロナウイルス感染拡大防止対策のために縮小した形になりましたが、村長様をはじめ、村議会議長様、文教厚生常任委員長・副委員長様、保護者の皆様のご臨席のもと、南阿蘇中学校第6回の入学式を開催いたしました。教育委員会、御来賓からは「出会いを大切に」「勉学、運動に励み、一日一日を大切に」「将来、南阿蘇村を担う人に」「優しく思いやりのある人に」など、心に響く言葉をいただき、新入生81名も中学生としての決意を新たにしましたことと思います。新入生を代表して宮本 樹みやもと いつきさんの誓いの言葉の後に、生徒会長 菅原虎次朗すがはらとらじろうさんが歓迎のあいさつを述べました。新入生の様子もすばらしい態度での入学式でした。



誓いの言葉

南阿蘇村の美しい山々に、新緑が目鮮やかに映る季節となる中、僕たち新入生81名は、今日この南阿蘇中学校の門をくぐりました。昨年よりコロナ感染が続く中、安全対策を第一に考えた、このような素晴らしい入学式を開催していただき、ありがとうございます。小学校での6年間、温かい先生方や仲間に出会い、僕はたくさんの思い出をつくることができました。僕が6年生の時の先生に、「失敗してもいい。それより失敗した後の行動を考えることが大切なんだよ。」と教えて頂きました。この言葉があったからこそ、僕はこの場に立ち、誓いの言葉を言うことができます。これから始まる中学校生活でも、新しい教科、新しい友人、新しい生活に期待と不安でいっぱいですが、しかし、失敗を恐れず、常に目標を持ち続けます。僕たちは今日この日をチャレンジのスタートとし、輝いていきます。最後になりましたが、僕たちはどんな時も前を見ていけるように、信頼できる友人関係を築いていきます。思いやりの心を忘れず、仲間と協力して行動することを誓い、新入生誓いの言葉といたします。校長先生を始めとする先生方、先輩方、僕たち81名の新入生をよろしく願います。

令和三年四月九日 新入生代表 宮本 樹

歓迎の言葉

春風が吹き、春の暖かさを感じられるこの良き日に、少し大きめの制服に身を包み、本日新たな青春の一步を踏み出される新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。私たちは皆さんの入学を心から楽しみにしていました。皆さんは今、どのような気持ちでこの式に臨まれていますか。慣れない校舎に2つある体育館、初めて顔を合わせる同級生と先生方。中学生として生活が始まる今、新入生の皆さんの心は、不安でいっぱいなのではないでしょうか。私たちも入学したときは同じ思いでした。しかし、南阿蘇中学校で生活していくうちに不安は和らぎ、期待や楽しいという気持ちへと変化していきました。困ったことがあったら、何でも私たちに相談してください。私たちが皆さんのことを全力でサポートします。1日でも早く南阿蘇中学校に慣れ、たくさんの人の良いところを見つけ、絆を深めていきましょう。今日から皆さんは、南阿蘇中学校の一員です。私たちと一緒にたくさんのお話を学んでいきます。中学校では「自分で考えて行動すること」が大切です。本校ではチャイムが鳴りません。周りの人から指示されて動くのではなく、自分で時計を見て行動することが求められます。また、教科毎に担当の先生や教室が変わります。準備や移動などを意識して行動しなければなりません。これらは私たちが将来自立していく上でとても大切なことです。常に意識して行動しましょう。また、南阿蘇中学校には、開校当時から大切にしていることが3つあります。1つ目は、あいさつすることです。専門委員会のあいさつ運動を通して、気持ちの良いあいさつが出来るよう取り組んでいます。あいさつを通して、一人一人が繋がることができます。2つ目は、休み時間と授業のけじめをつけるために2分間前着席、1分前黙想をすることです。これを通して、真剣に授業を受けることができます。3つ目は、相手の立場になって発言・行動することです。これらのお話を大切にしながら、新たな伝統を共につくっていきましょう。最後に新入生の皆さんが、1日でも早く南阿蘇中学校での生活に慣れ、それぞれの力を発揮できることを願っています。3年間はあるという間に過ぎていきます。その短い期間で多くのことを学び、経験して、実りのある三年間にして青春を謳歌してください。皆さんとのこれからの学校生活を楽しみにしています。

令和三年四月九日 生徒代表 菅原 虎次朗